

平成 29 年度特定非営利活動に係る事業報告書

1 事業の成果

支援事業では、入院中と退院後の患児・家族を対象とする支援事業に重点を置き活動した。千葉県こども病院・千葉大学医学部附属病院・成田赤十字病院・帝京大学ちば総合医療センターの各小児科で、辛く単調な入院生活を少しでも活気のある、明るいものにするため、季節にあわせた行事やアニマルセラピー・人形劇などを行った。季節行事はただ楽しむことだけでなく、管理栄養士の協力を得て食育し、入院中に少しでも多くの知識を持ち、退院後の健康管理に生かしていけるよう行った。また、アニマルセラピーや人形劇などに関しても、外からのボランティアの方々へは活動時の挨拶の指導等を行うことで、感謝の気持ちを表現する機会を設け、子どもたちの社会性の発達に資することができた。

また、退院後の患児やその家族の交流を目的とした例年の屋外イベントである野球観戦やハゼ釣り大会を開催し、清里キープ自然学校で行われた J&M キャンプへ参加した。

このほか、小児がん経験者及びその家族が交流し、お互いの悩みや問題点を共有・情報交換する場として院外にて茶話会の開催、また本年度から小児がん経験者で 20 歳以上を対象とした、第 1 回小児がん経験者の集いを開催した。この集いの参加者からは、似たような経験をした者同士が病気について気兼ねなく話せたり、同じような悩みを共有できることで心が軽くなったという声が聞かれた。

電話相談については相談がほとんどないのが現状であるが、各小児科への訪問時にはご本人や家族からさまざまな相談を受けることがあった。そこで、かねてより懸案となっていた、小児がん患児やその家族（千葉県こども病院外も含む）を対象としたサロン「いっぷく亭」を 9 月中旬に開所した。スタッフ 2 名が千葉県こども病院周産期病棟 1 階の会議室を借りて、毎週火曜日の 10 時から 16 時まで開き、予約は不要とし、気軽に立ち寄ってもらえるようにした。日ごろの不安、周囲への気疲れなど少しでも肩の荷を下ろす場となることを願い、電話相談に代わる事業とした。

啓発事業では、総会後の講演会で 2 人の医師による「小児がん治療後の口腔に関する晩期障害」と「小児がんにおける放射線治療の役割」について講演をいただいた。

また、第 7 回公開講座では 2 人の医師による「こどものがん」と「悪性腫瘍に対する粒子線治療」について講演をいただいた。一般の方々には、小児がんについて正しい知識を広く知ってもらい、小児がん経験者・家族にはより良い将来を築く一助とする機会を提供することを目的して行った。

活動の内容は随時ホームページに掲載し、会員だけでなく広く社会の皆様への情報提供に努めた。会報誌は、ミルフィーユ vol.7 を発行することができた。

その他、千葉県こども病院と千葉大学医学部附属病院小児科、そして千葉県がんセンターでの犬とのふれあい活動のボランティア団体 C A P P への感謝として毎年カレンダー製作・贈呈しているが、今年度も千葉県こども病院の子どもたちと袖ヶ浦特別支援学校院内教室の協力を得て、感謝の気持ちを表すことができた。

2 事業の実施に関する事項

事業名	事業内容	実施日時	実施場所	従事者の人数	受益対象者の範囲及び人数	支出額(千円)	
(1) 支援事業	入院中の患児とその家族への応援事業	院内イベント	月3~6回	・千葉県こども病院 ・千葉大学医学部附属病院小児科 ・帝京ちば総合医療センター小児科 ・成田赤十字病院小児科	2~4名	30名	239
	退院後の患児・家族の交流を目的としたイベントの開催	野球観戦	H29. 5. 20 (土)	ZOZOマリスタジアム	4名	10名	56
		キャンプ	H29. 9. 16 (土) ~18 (月)	山梨県 清里 キープ自然学校	10名	30名	282
		はぜつり	H29. 10. 7 (土)	千葉市 花見川河川敷	11名	30名	57
	茶話会		H29. 7. 2 (日)	市原市 姉崎公民館	6名	8名	5
	経験者交流会		H29. 11. 23 (木)	千葉市中央区	2名	25名	118
	電話相談		毎月第1火曜	社員自宅	1名	0名	11
	いっぷく亭		毎週火曜	千葉県こども病院 周産期棟1階	2名	20名	34
	(2) 啓発事業	患児家族向け講演会		H29. 6. 4 (日)	千葉県文化会館 聖賢堂	10名	40名
公開講座			H29. 11. 5 (日)	千葉市文化センター 5F セミナー室	10名	30名	108
支援自販機			随時	千葉県内			56
(3) 広報事業	ホームページの運営		随時	社員自宅	4名	不特定多数	34
(4) 会報誌発行	会員対象の会報の印刷、郵送		H29. 4. 29 (土)	社員自宅および 市内公民館	10名	会員約200名 ・各施設での 外来通院患者 ・家族150名	260